

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 富山国際大学附属高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒 930 - 0175
富山県富山市願海寺水口444

E-mail : info@tuins-h.ed.jp

児童生徒数：男子 367 名 女子 425 名 合計 792 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動（複数選択可）

地球規模の問題に対する国連システムの理解

- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
時間外活動の時間を使用 ユネスコクラブの活動として実施
- その他（国際理解講座、研修旅行 ）

①国際理解分野

ア. 国際理解講座

公開講座として全校生徒・保護者に開放。

イ. 国際英語コース授業

国際英語コースは多国籍生徒のクラス（後述）で、英語を共通語として国際理解の観点からの授業がスムーズに実践できる。

② 多文化共生

ESDを意識した多文化共生を推進したのは、ユネスコスクールになった今年度が初めてである。しかし、本校の多文化共生への取り組みは過去20年間の積み重ねがある。当初から目的はESD精神そのものであり違和感はなく、ユネスコスクール認定以前とかわらず実践している。

ア 学内に小規模地球教室

第1学年国際英語コースは外国籍生徒8名（中国、フィリピン、パキスタン、ロシア、パラグアイ）と留学生2名（アメリカ、ドイツ）、日本人25名で構成された小規模地球教室である。日本人生徒25名は2週間のアメリカホームステイ研修、1週間の韓国の大学でのドームステイ研修を経験した。クラス内には外国という言葉は存在しない。お互いのバックグラウンドを意識し、認め合う空気が流れている。

今年度、本校で受け入れた留学生が40名を超え、必然的にホームステイ受け入れ家庭が40家庭を超えた。生徒ばかりでなく保護者の意識も変化してきている。

③ 世界遺産分野

ア 授業内実践

国際英語コース1年生の授業。テーマは「温故知新」で、過去の人類の遺産を現代の諸問題解決のヒントとしてとらえることができるよう指導した。

イ フィールドワーク

2年生の冬季休暇中に研修旅行を実践。今年度は設定した6コース中3コースで世界遺産の現地調査を実施した。テーマは「現地でしかわからない問題点」で、地元の人やガイドからの情報を集め問題点を洗い出し、解決方法を考察した。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません

- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など） CD-ROM 写真
- その他（ ）